

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.18 2011年9月30日号

編集:[editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告:[pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### VTV ジャパン、テレビ会議カスタマイズソリューションを提供開始

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、「Live VC Navi(ライブ・ヴィ・シー ナビ)」を発表した。(9月1日)

LiveVCNavi™



Live VC Navi 構成例 (VTV ジャパン 資料)

Live VC Navi は、既存のテレビ会議システムにはない機能をビルトインできるユーザカスタマイズソリューション。ユーザが要望する新機能を独自開発してシステムを構築することができる。

特長は、(1)「高品質な映像と音声」。場の「雰囲気」を感じることができお互いの意思疎通をスムーズにする。(2)会議進行をサポートする「ファシリテーション機能」。(3)ニーズに合わせた「カスタマイズ機能」。

(2)のファシリテーション機能においては、以下の機能を提供する。

「自在な画面レイアウト」:単画面から分割画面までさまざまな画面サイズに切り替え、選択することができる。分割画面は、20分割まで設定可能。

「自由に選べる周辺機器」:ユーザの会議室環境や使い方に合わせて使い勝手のよいさまざまなタイプを選択でき快適な会議を構築できる。

「挙手機能」:発言したい拠点は、挙手要求アイコンをクリックすることで、会議主催者に発言の意思表示を行える機能。

スムーズに発言ができる。

「アンケート機能」:今議論している議題の賛否を即座に集計、データをその場でグラフ表示することができる。決議のスピード化が図れる。

「タッチパネルコントロール」:直感的でわかりやすいタッチパネルで使いたい機能を瞬時に選択。インターフェイスデザインは自在にアレンジが可能。

「レコーディング機能」:DVDレコーダーを使ってテレビ会議を録画できる。DVDを後日配布したり、サーバに保存したりすることで会議内容を共有できる。

(3)のカスタマイズ機能については、テレビ会議システムのオーダーメイド構築でニーズに合わせたプラスアルファ機能を提案するもの。たとえば、画面レイアウトやデザインの変更、自社の会議進行に合わせた機能の追加などが行えるという。

### VTV ジャパン、テレビ会議端末の操作用アンドロイドタブレットを発売

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、テレビ会議端末の操作用アンドロイドタブレットソフト「EasyTouch(イージータッチ)」を発売した。(9月9日)



EasyTouch 画面表示例 (VTV ジャパン 資料)

EasyTouch は、同社開発のテレビ会議カスタマイズソリュー

ーション第2弾となるもの。テレビ会議端末の操作には、今まで製品に付属したリモコンを利用するしかなかった。そのため、日本語に対応していない、字が小さい、操作が煩わしいなどの相談をユーザから受けることが多かったという。また、製品のモデルチェンジや購入先が異なることでさまざまなメーカーの製品が社内に設置され、それぞれの操作を覚えなければならぬといった悩みを抱えたユーザもいたという。そこで今回 EasyTouch を開発するに至った。

EasyTouch の特長は以下の通り。



#### EasyTouch 画面表示例 (VTV ジャパン 資料)

- (1) アンドロイドタブレットを採用。オープンソースの利点を生かし、ハードウェアに依存せずに使い続けることが可能。
- (2) マルチプラットフォームに対応。各メーカーのテレビ会議システムに対応。端末が変わっても新たにリモコン操作を覚える必要がない。
- (3) アドレス帳管理。サーバの電話帳を更新するだけで一括管理が行える。増設や移設のたびに、各テレビ会議端末に保存している電話帳を1台ずつ更新するのは大変である。
- (4) 直感的操作。10.1 インチにわかりやすくデザインされた操作画面。直感的な操作が可能という。
- (5) ガイドとヘルプ機能。操作画面ごとに表示されるガイドを読むと解決方法を提示する。
- (6) カスタマイズ。デザイン変更およびシステム構成に合わせた機能追加も対応する。

### VTV ジャパン、テレビ会議システム新製品の取扱い開始を発表

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、テレビ会議

システム新製品の取扱い開始を発表した。

今回発表された取扱い開始されたテレビ会議システム新製品は以下の通り。VTV ジャパンは、企業のコミュニケーションツールを包括的に提供することを目的として取扱い製品の拡充を行っている。

- (1) 「VidyoMobile(ヴィディオモバイル)」(写真左: VTV ジャパン資料)。(8月24日)



Vidyo 社製スマートフォン・タブレット(iOS や Android)対応テレビ会議システム。受信は最大720p30fps、送信は最大

VGA(回線、端末仕様による)。PC 画面共有やレイアウト変更(最大4分割)に対応する。「VidyoDesktop」や「VidyoRoom」の他、「VidyoGateway」を介した H.323 および SIP 端末ともシームレスに会議やデータ共有が行える。

- (2) 「SCOPIA XT1000 ピッコロ」。(写真左: VTV ジャパン



資料)(9月2日)ラドビジョン社製ルーム設置型 SCOPIA XT シリーズ エントリーモデル。720p30fps 動画の送受信や PC 共有映像(H.239)

で XGA 30fps 送受信に対応。音声については、48kHz フルバンドに対応している。インテリジェンス POD マイク搭載。

### シスコシステムズ、テレプレゼンスの新製品および新機能を発表

シスコシステムズ合同会社(東京都港区)は、テレプレゼンスの新製品および新機能を発表。(7月25日)

今回の新製品、新機能のポイントは、相互運用性による「Any-to-Any」をさらに強化したこと、また操作性に優れた機能や性能でより直感的にテレプレゼンスを利用できるようになったという点。まず今回発表された新製品は2つある。



写真上 / 下  
TelePresence  
MX200(シスコシステムズ資料)

(1)「TelePresence MX200」。42 インチ LCD モニターを搭載。

720p60fps/1080p30fps に対応。チームミーティングや個人オフィスに最適化されており、本

体は自動プロビジョニングにより設定が容易。セットアップの時間は 15 分ほどで完了。



(2)「Cisco

TelePresence Conductor」。多地点会議開催に際して、最適な MCU に自動割当や、他の MCU にリソースの分散を行うことでリソースを効率的に運用するための装置。小規模から大企業までさまざまな規模ニーズに対応。2012 年上半期に提供開始予定。

新機能や機能拡充については次の通り。(1) 端末ソフトウェア(TC5.0、CTS1.8)の強化によって、相互運用性の強化を行った。これにより、トランスコーディングを追加することなく、他社製のビデオ会議システムも含めネイティブな相互運用性の実現を目指すという。

(2)「Cisco TelePresence Server 8710 と 7010 v2.2」。拡張性を強化し、スクリーンの解像度と数を増やした。最大 64 人が会議に参加可能な 720p モードと、最大 48 人が参加可能な 720p60fps と 1080p30 をサポートしている。

(3)「Cisco TelePresence Multipoint Switch v1.8」。自動出席機能を追加。予定されていた通話に対して任意の端末か

ら簡単に応答できる。また、スクリーンの数を 48 画面から 90 画面に増やすことで参加できる端末台数を倍にした。このバージョンは、8 月より提供開始。

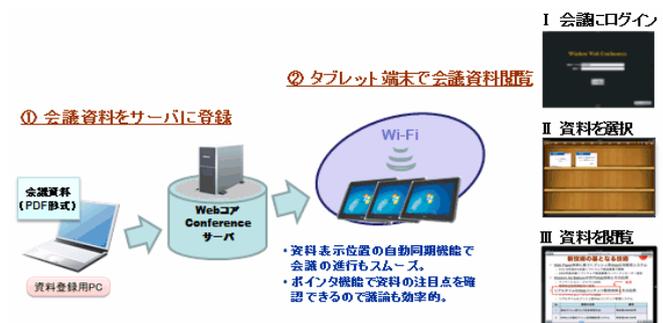
(4)「Cisco MXE 5600(Media Experience Engine)」。ベンダーを問わず標準ベースのビデオ会議端末間のコンテンツ共有、「WebEx OneTouch」、記録およびストリーミングの相互運用性の実現。

(5)「Cisco TelePresence TMS 13」と「Cisco TelePresence Manager(CTS-MAN)」。「One Button to Push(ワンボタン)」通話機能を、CTS、EX シリーズ、C シリーズの端末を含むポートフォリオ全体に拡大した。これにより、Microsoft Office や Lotus Notes などのグループウェアと連携して、予定会議をワンボタンで開始できる。

(6)「Cisco Unified Communications Manager 8.6」。EX シリーズ、C シリーズ端末にネイティブの通話コントロールとセッション管理機能を追加。音声とビデオ両方の共通通話コントロールプラットフォームとしての Cisco Unified Communications Manager を確立したという。

富士通ソーシャルサイエンスラボラトリーのペーパーレス会議システム、富士通製スレート型 PC に対応

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(川崎市中原区)は、同社のペーパーレス会議システム「Web コア Conference」が、富士通製スレート型 PC に対応したと発表。(9 月 8 日)



Web コア Conference システムイメージ (富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 資料)

Web コア Conference は、サーバに登録した会議資料を、無線 LAN を経由し会議参加者が使用する端末に同期表示することで、紙の資料を不要とし効率的な会議運営を実現するペーパーレス会議システム。今年の5月発売した。これまでは、アップル社製タブレット端末「iPad」に対応していたが、今回、富士通製スレート型 PC「STYLISTIC Q550(スタイリステック)」にも対応する。

STYLISTIC Q550 は、画面タッチによるページめくり、資料の拡大縮小表示、手書きメモ、付箋の貼り付けなど iPad 同様の機能と操作性を提供することができるという。

動作環境は、STYLISTIC Q550、または、同等以上のスペックの Windows7 搭載スレート型 PC に対応。別途ユーザが用意する。

販売価格は、5 ライセンスパック(997,500 円)、10 ライセンスパック(1,155,000 円)、20 ライセンスパック(1,470,000 円)の 3 ライセンスパックを提供。サーバライセンス1台分とクライアントライセンスを含むが、別途保守費用が必要。

## ビジネス動向-国内

### ブイキューブ、5 億 2800 万円の第三者割当増資を実施

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、第三者割当増資を実施し、総額 5 億 2,800 万円の資金調達を行ったことを発表した。(8 月 26 日)

引受先は、株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ(東京都千代田区)、プレミア コンファレンシング株式会社(東京都中央区)、株式会社東電通(東京都江東区)の3社。

グロービス・キャピタル・パートナーズの資本参加によって経営力の強化を図るとともに、グロービス経営大学院における新たなイーラーニングサービスを共同開発していく計画。一方、プレミア コンファレンシングは、グローバルで展開する電話会議サービスとのシームレスな連携を加速(両社は 7 月 13 日提携を発表済。)、さらに、東電通の参加によって、新規契約ユーザに対する機器設置や利用開始サポートなど顧客満足度の向上と大型案件の対応力強化を行う。

## 製品・サービス動向-海外

### インターコール社、チャンネルパートナー経由で販売する Adobe Connect を発表、販売力強化につなげる

米インターコール社は、新たにチャンネルパートナー経由で販売する Web 会議サービス「Adobe Connect(アドビコネクト)」を発表した。(8 月 3 日)

今回発表された Adobe Connect は、インターコール社とアドビシステムズ社との共同開発によるもので、北米向けに従量課金(pay per minute)やライセンス価格が設定されている。リセラー経由により拡大している顧客ベースに対応するため販売強化につながると見ている。

販売については、インターコール社の販売担当者や同社のリセラーが、一般企業、教育、NPO を中心に展開する。

## ビジネス動向-海外

### Vidyo 社、HP 社やポリコム社での経歴を持つ人材をセールスとエンジニアリングの責任者に任命

Vidyo 社は、James Fairweather 氏と Mark Reid 氏を、それぞれ同社のセールスとエンジニアリング担当部門の責任者に任命した。

James Fairweather 氏は、ワールドワイドチャンネル担当バイスプレジデントに、また Mark Reid 氏は、エンジニアリング担当シニアディレクタに任命された。James Fairweather 氏は、ワールドワイドセールス担当シニアバイスプレジデント Rob Hughes 氏に、一方 Mark Reid 氏は、エンジニアリング担当シニアバイスプレジデント Roi Sasson 氏が直属となる。

経歴について。James Fairweather 氏は、入社前は、ヒューレットパッカード社のワールドワイドセールス担当バイスプレジデントであった。また HP 社以前には、ポリコム社やピクチャーテル社、MCI ワールドコム社(現ベライゾン社)セールスやマーケティング畑の幹部を務めてきた。

Mark Reid 氏は、入社前は、ヒューレットパッカード社エンジニアリング担当シニアディレクタ。HP 社の前はポリコム

社、NMS Communications 社、Xelor Software 社、First Virtual Communications 社、CMGI 社、VideoServer 社、ピクチャーテル社などで幹部を務めエンジニアリング畑を歩んできた。

## セミナーレポート-国内

### ラドビジョンジャパン、都内にてセミナー開催、新製品の紹介の他、今後の戦略や展開など説明

RADVISION Japan 株式会社(東京都台東区)は、9月9日東京都内にて、ラドビジョンの最新ソリューションを紹介するRADVISION セールスセミナーを開催。会場には、ラドビジョンソリューションを検討しているユーザ等が多数参加した。

セミナーでは、同社の企業紹介や今後2年間の同社が注力する戦略領域の説明の他、テレビ会議端末新製品、スマートフォンソリューション、今後のロードマップ等がデモを交えながら紹介された。デモでは、最近発売された「XT 1000 Piccolo」やスマートフォンによるテレビ会議のデモが行われた。



セミナー会場の様子

ラドビジョン社は、1992年に設立され来年で設立20周年を迎える。もともと通信技術に特化した企業としてR&Dに社員の半数以上が従事する。ITU-Tなどの国際機関でのH.323やSIP関連の標準化にも深く関わり、その技術をベースとした開発者向けソリューション市場で先行している。H.323プロトコルでは95%、SIP関連では45%の市場を抑えているという。競合企業も同社のプロトコルスタックの重要な顧客でもある。

ラドビジョン社は、設立以来、プロトコル技術やインフラ装置

のコアコンピテンスで業績を拡大、最近では端末にも参入。スマートフォン対応からデスクトップ(VC240)やセットトップ(XT1000シリーズ)、そして低コストでフルカスタマイズが可能なテレプレゼンス(SCOPIA XT Telepresence)までの製品ラインナップを充実させた。今後は、たとえばコールセンターなど双方向ビジュアルコミュニケーションであれば全方位的に事業領域としていくと意欲を見せる。

そういった考えをもとに、これから2年間の同社が注力する戦略的領域は4つある。(1)モバイル、(2)ユニファイドコミュニケーション、(3)クラウドサービス、(4)開発者向けソリューション(BEEHDなど)。

まず、モバイルへの対応は、スマートフォンやタブレットの広がりがある背景にある。このセミナーでも紹介されたが、iPhoneやiPadなどへの対応によってどこからでもビデオ会議が行える環境が揃ってきた。

ただし、スマートフォンやタブレットといっても性能や機能面において専用端末より見劣りするというわけではない。同社のモバイルソリューションは、H.323やSIPや多様なネットワーク接続に対応している他、HD解像度や会議機能、データ会議(H.239)なども充実していると優位性を説明する。

ユニファイドコミュニケーションについては、他社メーカーの専用端末などすべてつなぐ方針で製品開発を行っており、平行してマイクロソフトやIBMとのインテグレーションも進めている。「マルチベンダー環境での相互接続に当社の存在価値がある。あらゆる端末をつなぐ。その際の当社のSCOPIA MCUがハブになる。SCOPIA MCUは、ソフトウェアタイプのものとは比べ、ハードウェアMCUとして安定性や信頼性、拡張性の面に優れているだけでなく、仮想化やAPIなどにも対応している。」(ラドビジョン)

次に、クラウドの面については、今年末から来年頭ぐらいには最初のリリースの発表を予定している。ラドビジョン自体が提供するクラウドからパートナーが提供するクラウドまで幅広いクラウドソリューションを用意するという。同社のクラウドへの対応は、同社のSCOPIA MCUがすでにクラウドサービスのプラットフォーム技術として国内外で採用されて

いる実績が背景にあるのだろう。

その他、開発者向けソリューションでは、「BEEHD for desktop」、「BEEHD for device」、「BEEHD for Enterprise」と製品バリエーションを拡大している。たんにビジネス向けのビジュアルコミュニケーションだけでなく、マスマーケット向けのサービスも今後増えてくると見られている。ラドビジョンでは、そういった市場での動向を踏まえ、プロトコルなどの技術的強みを活かしたサービスやサポートを提供している。今後は、アンドロイドへの対応や Mac OS への対応など多様な端末をサポートした BEEHD を予定しているという。

「インフラ装置などに特化した事業からビジュアルコミュニケーション全般に舵を切っていくことで、当社がソリューションプロバイダーとして対応していく市場の規模は一桁アップする。今後のラドビジョンを是非期待して欲しい。」(ラドビジョンジャパン)

## イベント採用-国内

### SOBA プロジェクトの SOBA mieruka、国際宇宙ステーション(ISS)と仙台・東京・名古屋を結んだ中継イベントで採用

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)が開発・販売するテレビ会議・中継システム「SOBA mieruka(ソバー・ミエルカ)が、8月30日に開催された「三菱電機 Presents スペース・キッズ・プラットフォーム 2011」に採用された。(8月25日)

このイベントは、国際宇宙ステーション(ISS)に滞在中の古川聡 宇宙飛行士と、仙台・東京・名古屋の各会場に集まる小中学生(4年から中学3年生とその保護者:130組 260名)とをリアルタイム中継し、ISS 宇宙開発がどのように未来に役立っていくのか学んだ。その中継には、SOBA プロジェクトの SOBA mieruka が使用された。

主催は、財団法人日本宇宙少年団。共催は、JAXA(独立行政法人 宇宙航空研究開発機構)。名古屋市科学館、仙台市科学館。



講演中の古川 聡 宇宙飛行士 (SOBA プロジェクト資料)



中継の様子 (SOBA プロジェクト資料)

SOBA mieruka は、パソコンとインターネット環境があれば利用できるテレビ会議システム。パソコンに DV カメラを接続すれば 4Mbps を越える高精細・高解像度の映像送受信が可能。音声遅延がすくなく生放送などの映像配信にも対応しており、サーキット中継、大学講義、後援会の中継などの大規模イベントでの実績がある。

財団法人日本宇宙少年団 <http://www.yac-j.or.jp/>

## セミナー・展示会情報

### < 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:10月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)  
 ※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催  
 会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)  
 主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ  
 詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformmeeting/seminar.html>

## 『次世代Web会議SaasBoard 4.0をスマートフォンで！』

日時:①10月4日(火)12:30~13:00

②10月6日(木)11:00~11:30

会場:オンラインセミナー

(在宅、オフィス、喫茶店など、ネット環境のあるお好きな場所)

主催:ニューロネット株式会社

詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

\*CEATEC Japan 2011 出展。

## ITpro EXPO 2011

日時:10月12日(水)~10月14日(金) 10:00~17:30

会場:東京ビックサイト

主催:日経BP社

後援:総務省、経済産業省、アメリカ合衆国大使館 商務部(予定)

協力:日本経済新聞社、テレビ東京

詳細・申込:<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/index.html>

\*遠隔会議系は、「ビジュアル・コミュニケーション 2011」か、「クラウドコンピューティング 2011」のどちらかで出展しているようです。その他も確認要。

遠隔会議関係: 共信コミュニケーションズ、ココロ S&amp;T、ジャパンメディアシステム、パイオニアソリューションズ、日立電線ネットワークス(RADVISION)、ブイキューブ、プリンストンテクノロジー(ポリコム/Vidyo)、三菱電機システムサービス(シスコシステムズ)、RADVISION Japan、NTT アイティ(9月30日現在 CAN レポート・ジャパンで確認したところ。)

## 『VTV ジャパンビジュアルコミュニケーションフォーラム』

日時:10月21日(金)【展示】11:00~18:30

【セミナー】13:30~17:30 (開場 13:00~)

東京、大阪 2元中継 同時開催

会場:【東京】テピア(財団法人 機械産業記念事業財団)

【大阪】大阪マーチャングラウンド・コート

主催:VTV ジャパン株式会社

協賛:株式会社インターネットイニシアティブ

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1110vtv/index.html>『ビデオ会議システム 円滑運用のノウハウご紹介』セミナー  
~複数メーカー新旧混在、異機種間接続を実現して既存システムを有効活用~

日時:10月27日(木)14:30~17:25 (受付開始 14:00)

会場:パナソニック電工インフォメーションシステムズ セミナールーム(大阪市北区)

主催:パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社  
共催:パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社  
シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:

<https://event.panasonic-dennois.co.jp/public/seminar/view/180>

## &lt; 海外 &gt;

## Interop 2011 New York

日時:10月3日~7日

会場:米国 ニューヨーク Javits Center

主催:UBM TechWeb

詳細・申込:<http://www.interop.com/newyork/>

\*Video Conference Track カンファレンスが開催される。

## 7th Annual Real-Time Communications Conference and Expo

日時:10月4日~6日 8:00~17:00

会場:米国イリノイ州 Illinois Institute of Technology

主催:Illinois Institute of Technology

詳細・申込:

<http://www.cvent.com/events/7th-annual-real-time-communications-conference-and-expo/event-summary-ffc3acffa5af4bddae7a33f788e37f56.aspx>WR CSP Summit - North America 2011  
Driving Growth of Collaboration Services in an Emerging Unified Communications Environment

日時:10月11日

会場:米国マサチューセッツ州ボストン

主催:Wainhouse Research, LLC

詳細・申込:<http://www.wainhouse.com/event-calendar.php?sec=93>

## VCI-Group Second Annual Conference

日時:10月10日~12日

会場:米国ルイジアナ州ニューオーリンズ Sheraton New Orleans Hotel

主催:VCI-Group

詳細・申込:<http://www.vci-group.org/Events/Conference.aspx>

## Twitter、Facebook

ツイッターとフェイスブックを行っています。よろしければご覧ください。

Twitter 日本語版:<https://twitter.com/cnarjapan>Facebook:<http://www.facebook.com/keishashimoto>

また 6月7日にフェイスブックに、「テレビ会議・Web 会議・電話会議 &amp; ユニファイドコミュニケーション研究会」

を開設しました。<http://on.fb.me/jugTNp>

dte-forum メーリングリスト

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

## 編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

この定期レポートに掲載している記事は各社からのプレスリリースをベースにしたものと、直接取材したものになります。これら以外の関連情報は、上記、Twitter かフェイスブック「テレビ会議・Web 会議・電話会議 &amp; ユニファイドコミュニケーション研究会」、あるいは、メーリングリスト dte-forum で配信しています。よろしければそれらもご参照ください。

今後ともよろしくお願ひ致します。

橋本 啓介